

## 今回は、テキストを決めて、意見交換を行います。

- 1.「自分づくり、シゴトづくりを、一緒に考えてみませんか！」
- 2.「先人のシゴト観を参考にして、“シゴトとは何か”を考えてみませんか！」

テキスト（別紙）

- 1.坂本竜馬「人間は何のために生きちよるか、事をなすためじゃ。」

「何をするか、世に生を得るは事を成すにあり。」

司馬遼太郎著『竜馬がゆく』2000文春文庫/1963-66文芸春秋

- 2.尾高邦雄「職業とは、個性の発揮、社会的役割の実現、生計の維持、

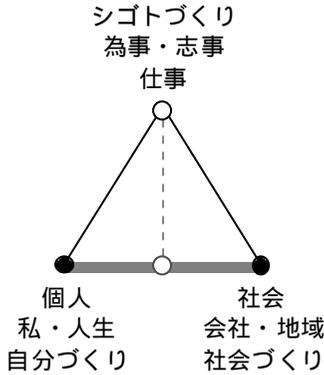
この三つを要素とする人間の継続的な活動である。」

『尾高邦雄選集 第一巻』1995夢窓庵/『新稿職業社会学』1953福村書店

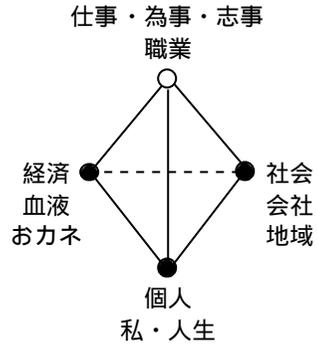
進行役 四木 信/OWL仕事研究室

- 1.シゴトは「為事」であり「志事」である。「為す事によって在る。」
- 2.シゴト観の成熟へ向けて  
シゴト(づくり)観 = 人生(自分づくり)観 = 社会(づくり)観 = 経済(づくり)観
- 3.日本社会の現状と将来：経済疲労・組織疲労 閉塞組織社会 公開個人社会  
閉塞社会 公開社会 組織 個人 私閉個人 公開個人 仕事 志事
- 4.H P (コミュニケーションツール)の特長・有効性・シゴト力  
公開性 即時性 個人性 編集性

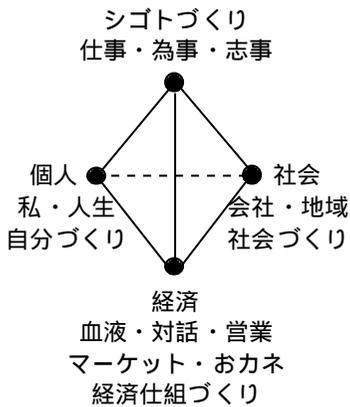
個人と仕事と社会の三角形  
仕事は個人と社会を結ぶパイプ



職業と個人と社会と経済の  
四頂点体(三角錐)  
尾高邦雄から学んだこと



個人・社会・仕事・経済の  
三角錐(四頂点体)サイコロ  
(四面体マトリックス)



個人・社会・仕事・経済の  
三角錐(四頂点体)サイコロ

